



2022年5月9日

各 位

上場会社名 **株式会社 日 伝**
 代 表 者 代表取締役 社長執行役員 福家 利一
 (コード番号 9902 東証プライム)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理本部長 寒川 睦志
 (TEL 06-7637-7000)

**2022年3月期 連結業績予想と実績値との差異
 および剰余金の配当（増配）に関するお知らせ**

2021年11月5日に公表いたしました2022年3月期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2022年5月9日の取締役会において、2022年3月31日を基準とする剰余金の配当予想につきまして、2022年2月4日に公表した配当予想の修正を、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 2022年3月期連結業績予想と実績値の差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	119,000	4,360	4,770	3,300	105.08
実 績 値 (B)	123,964	5,502	6,082	4,245	135.20
増 減 額 (B-A)	4,964	1,142	1,312	945	
増 減 率 (%)	4.2	26.2	27.5	28.6	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	102,751	3,943	4,176	2,841	90.48

差異の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大や半導体・樹脂材料の不足、原燃料費の高騰等マイナスの要因もありましたが、輸出の回復等により企業活動が活性化し、生産用機械や電子部品・デバイス等の増産基調に加え、設備投資の持ち直しもみられたことにより、前回予想値を上回る結果となりました。利益につきましては、売上総利益率の改善が奏功いたしました。また、新西部物流センター稼働に伴い下期からの減価償却費は増加となりましたが、コロナ禍に起因して広告宣伝費や旅費交通費等の販売管理費が抑えられたことや その他経費の圧縮等により大幅な増加となりました。

2. 剰余金の配当（増配）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年2月4日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	65円00銭 (普通配当55円00銭) (記念配当10円00銭)	55円00銭 (普通配当45円00銭) (記念配当10円00銭)	普通配当 40円00銭
配当金総額	2,041百万円	—	1,256百万円
効力発生日	2022年6月27日	—	2021年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

修正の理由

上記のとおり、修正いたしました業績並びに配当方針等を勘案いたしました結果、2022年3月期の1株当たりの期末配当金を、従来予想の普通配当を45円から10円増配するとともに、記念配当10円を加え65円に修正することといたしました。

以 上